

札幌のコロナ病床使用率90% 市医師会「入院受け入れ限界近い」

2022年11月25日北海道新聞



市内の新型コロナウイルスの感染者数は25日、前週を376人上回る3624人となった。病床使用率は市の集計方法では24日時点で91・4%に達した。市と札幌市医師会は医療機関に「緊急協力要請」を发出して医療体制の拡充を図っているが、「入院の受け入れは既に限界に近づいている」と危機感を示している。

病床使用率を巡っては、国や道は、各医療機関が市保健所に届け出ている「確保病床数」を入院患者の上限とみなして集計しており、24日時点で55・7%。一方、市は「より実態を反映するため」として、入院患者の実数を基に算出し、高い数値となった。

コロナの入院患者の急増に伴い、市集計の病床使用率は11月15日に60%台、21日には70%台に跳ね上がり、24日には91・4%に上った。市保健所によると、病床は14日に「フェーズ3」に引き上げられたことに基づき、734床を準備。ただ、医療機関内のクラスターの発生や家族の感染などで休む医療従事者も出ており、734床すべてがすぐに対応できる状況にはなっていないという。

市と市医師会は17日、市内の医療機関に向けて、緊急に協力を要請。高齢者の入院に対応可能な病床の拡充や発熱者を含む救急患者の受け入れ、発熱外来の医療機関による健康観察などを求めた。市保健所は

「入院治療を必要とする患者が必要な医療を受けることができなくなる恐れがある」としている。(岩崎志帆)

日	月	火	水	木	金	土
10月30日	31日	11月1日	2日	3日	4日	5日
1617	1132	2698	2938	2771	1730	2452
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
2154	1491	3185	3460	3334	3066	3640
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
2386	2099	3920	4456	3738	3248	3562
20日	21日	22日	23日	24日	25日	
2539	1914	4085	4183	2239	3624	

は前週の日から増加